

「ビレッジハウス 敷地内でマルシェ 地元企業ら協力 340 人来場」



▲マルシェではネパールカレーも

ビレッジ
ハウス

敷地内でマルシェ
地元企業ら協力 340 人来場

入居者と地域住民の交流を目的としたイベント「健康ふれあいマルシェ in 野幌」が9月6日、江別市東野幌町のビレッジハウス野幌で開かれ、約340人が来場した。主催したのは、全国でアフォーダブル住宅を展開するビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)。生活協同組合コープさっぽろやダイヤ書房、日本モラルック協会などの協力を得た。会場には、体力測定や体組成チェックを行う健康コーナーのほか、フィンランド発祥の「モルック」、近年人気の「ビッケルボール」を体験できるスポーツブースを設置。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加した。

ビレッジハウス野幌(全240戸)は現在は122戸が入居済みで、そのうち60歳以上の世帯が約6割を占める。地域住民と入居者の交流を促し、安心安全な地域社会づくりにつなげようと今回の企画が実現した。